

一年ぶりの寺田李、山科植物資料館で3月31日再会

昨年1月に森澤さんの畑から日本新薬(株)山科植物資料館に移植された寺田李、その年の3月25日には花を見に訪れましたが、この時は残念ながらまだ咲いていませんでした。今年こそはと「資料館」と連絡をとり3月31日に訪れました。

8時45分頃に森沢さん宅に出向いたときには雨がほぼ止んでいました。実は1週間前の天気予報は10ミリを超える土砂降りの雨となっていました。その後日が近づくにつれて、徐々に天候は回復に向かってはいましたが、前日の予報でも雨に変わりはありませんでした。それが出発の間近になって傘が要らないほどに止んでいました。

昨年の移植の時に世話になった田畑さんも来られて、念佛寺の前から池垣さんの車に乗せてもらい、市役所玄関前で福井さんらの車と合流。予定通り9時に出発、宇治橋から六地藏を経て山科植物園には10時少し前に到着することが出来ました。

植物資料館では掛見さんや山浦館長、新館長さんらに出迎えて頂き、早速寺田李を森澤さんに見てもらいました。少し散り加減にはなっていましたが多数の花が咲いていました。

森澤さんは久しぶりの再会に嬉しそうにされていました。寺田李の下に座り込んで掛見さんらと接木の方法や土の管理など熱心に話し込んでおられました。

園内を見せて頂く。タチバナやヘントウ・アーモンドの花などあちらこちらと見て回っているうちに掛見さんに「トウキはよろしいですか」と声をかけて頂いた、危うく見過ごしてしまうところだったので、「もちろんよろしく」とお願いしました。以前とは場所が少し変わっていました



寺田李の前で (日本新薬山科植物資料館)

た(厭地の為とのこと)が元気に緑の葉をつけていました。

途中雨が降ってきましたが、ちょうど日本新薬が大きく飛躍する原動力となった、回虫駆除剤「サントニン」の原植物「ミブヨモギ」に因んでその名がつけられた「ミブヨモギ記念館」の近くでしたので、そこに入って会社の歴史や薬草類の標本を見せて頂きました。

11時半ごろ皆さんの見送りを受けながら帰途につきました。参加者は中東さんはじめ6人でした。

杉浦 記

一年ぶりの寺田李、山科植物資料館で3月31日再会／ひよっとこ踊りと韓国舞踊奉納 一水度神社にて一／会のタイトル／アマナの観察会に参加して／森沢李庵さん、白寿記念の作品展 3月28日に念佛寺で／古文書「天保十年」の太鼓がありました／不思議なご縁で太鼓を“発見”／島畑のある景観／会の活動・短信／当帰のにつ帰／大久保駐屯地さくら散策と歯痛地藏／寄贈書籍の紹介／お詫びと訂正／6月の記念講演講師 小西さんのプロフィール／他